

【草花の部屋】

ビオラ（スミレ科スミレ属 Viola）

和名：ビオラ **別名**：三色スミレ、すみれ（堇）

英名：Viola、Violet tufted pansy、Garden pansy、Hearts ease

キントラノオ目 一年草

原産地：ヨーロッパ、西アジア

花言葉：忠実、誠実、信頼、物思い、少女の恋、私のことを思ってください

花色：紫、白、黄色、桃、青、橙、複色など



←↘ 写真-1、2 ビオラ

撮影日：2020年04月10日

撮影場所：倉敷市郊外にて

撮影者：M さん



←↓↘ 写真-3、4、5 ビオラ

撮影日：2020年04月10日

影場所：倉敷市郊外にて

撮影者：M さん





←\ 写真-6、7 ビオラ

撮影日：2020年04月10日

撮影場所：倉敷市郊外にて

撮影者：M さん



郊外の民家の庭先で咲いていました。

ビオラは、スミレ属で英語では「Viola (ビオラ)」と呼ぶことから、そう呼ばれるようになったそうです。

開花期は11～6月で、3月下旬～5月に見頃の時期を迎えます。蝶のような形と白やピンク、紫、青、黄などのさまざまな花色をしているのが特徴です。

ビオラとよく似た花にパンジーがあります。パンジーもビオラと同じスミレ科スミレ属に分類される植物で、その違いは花びらの大きさだけといわれます。大型種をパンジー、小型種をビオラと分けられていますが、パンジーとビオラの混合種も市場に出回るようになったため、現在では区別するのが難しいそうです。

ビオラは品種改良が盛んな草花で、その数は数千種類以上といわれ、今でも新しい品種が日々生み出されているそうです。最近では珍しい色が多い「ビビシリーズ」、個性的な花を咲かせる「ペニーシリーズ」、花の色が変化するタイプもある「フルーナシリーズ」などが人気を集めているそうです。

花姿については、花弁が5枚の一般的なもの、品種改良で作られた八重咲きのもの、フリルのように花弁が波打つものなどがあり、花弁の形と配置がウサギのように見える「ラビット」、馬の顔のように見える「馬面」といった特徴的な花姿をもつ品種もあるそうです。